

公成建設株式会社 VOL.446

安全衛生ニュース

発行
公成建設(株)安全衛生
協力会事務局
編集
安全衛生委員会
事務局

◆ターニングポイント◆

株式会社城東鉄筋 代表取締役 森山 直樹

昨年12月に改正建設業法が全面施工となり、私たちの産業において、未来を想像することができる時代がやってきたのかと期待するところではありますが、この変革は今始まったばかりで、このチャンスを生かす為には、私たち自身の意識改革も必要なのではないでしょうか。



この改正建設業法には、労働者の処遇改善、資材による労務費へのしわ寄せ防止、働き方改革と生産性の向上と3つのポイントがありますが、私が特に注目する点は、処遇改善のうちの労務費の基準というところです。特に労務費割合が大きい鉄筋工事においては仕事を受注するためにこの労務費をいかに抑えて受注競争を勝ち抜くか、それしかないといっても過言ではない状況でここまで来た気がします。ですがこれは我々自身も反省すべき点とも思います。この法改正の意義を私たち経営者がよく考え、それぞれの会社を支えてくれている作業員や社員の人たちの将来が、みらいのある産業にしていけるためにしっかりと襟を正して取り組んでいかなければならないと思います。

私は関西鉄筋工業協同組合に所属しており、組合事業といたしまして毎年、高校や大学への出前講座を行い鉄筋工事における職人の技術の重要性などを伝えてきました。また、「みらいのたからばこ」というイベントに参加し、あべのQ'sモールやインテックス大阪にて小学生たちを対象に仕事体験として、結束体験、押切りによる鉄筋の切断や曲げの加工、作業服や安全帯、ヘルメットを着用して写真撮影等、イベントブースを鉄筋で作成し、現場の雰囲気の中で「ものづくりの仕事」を感じてもらえることを期待して行ってまいりました。

小学生の子供たちが楽しそうに鉄筋を曲げたり、ヘルメットをかぶり安全帯を片手にもってピースで写真を撮

ってもらっていたり、VRの圧接の炎にびっくりしていたりと、反応を見ているだけでこちらも楽しくなってきました。最後にアンケートを付箋に書いてもらいボードに貼って帰ってもらうのですが、子供たちの「楽しかった！またやりたい！ありがとう！」などの言葉を目にするこちらも気持ちが熱くなったりします。その子供たちに「この格好いい職人さんになって働いてみない？」と声を掛けられなかったのは、今の環境ではこの子供たちの未来に責任を持つということに自信が持てなかったからだと思います。この度の業法改正をいかに受け止め、求められた社会貢献に企業としてどう答えていくのか今一度見つめなおし、いつの日か子供たちに本気で「将来は鉄筋やってみる？面白いよ！」と声を掛けられるようになりたいと願います。ご安全に！

2月度合同パトロール

2月16日(月)13:00より
協力会：木下吉工業(株)、日本電機材料(株)
安衛委員：稲垣・木本・安井・石垣・寺田・松永
以上8名で実施しました。

『寸評』 安全衛生委員会

2月度の合同パトロールは、建築現場、「久御山町全世代・全員活躍まちづくりセンター建築工事」を、安全衛生協力会2名、安全衛生委員会6名の計8名により実施しました。

当日は、先週から続いた寒波も少し緩んだ中、『墜落・転落災害の防止、転倒災害の防止』を主眼に、安全パトロールを行いました。

◆ 久御山町全世代・全員活躍まちづくりセンター建築工事

当工事は、昨年8月から3回目の合同パトロールです。田畑所長より概要・進捗状況説明を受け、重点目標の「墜落・転落災害の防止、転倒災害の防止」を主眼に安全点検を行いました。当日の作業は、ホール天井、キャットウォーク組立、1階耐火塗装、北面外構他で職員を含め40名でした。

工事場所：久世郡久御山町島田ミズノ38番地

工期：令和6年3月14日～8年12月28日(33ヶ月)
発注者：久御山町
工事概要：建物用途：集会所 S造 地上2階建て
主な外部仕上げ：

勾配屋根 ガルバリウム鋼板(タテハゼ葺き)
陸屋根 超速硬化ウレタン複合防水
軒裏 LGS下地 杉軒天井パネル
木材保護塗装塗布
外壁 カラーガルバリウム鋼板
フェノールフォーム複合高圧木毛セメント板

出来高：44.3% (1/31現在)
安全成績：労働延時間=80,512時間
休業災害0件・不休災害0件。(1/10現在)

《良好な事項》

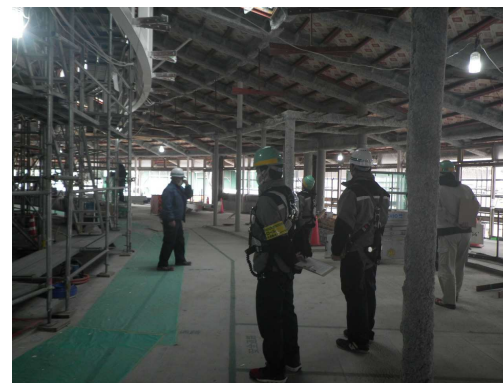
- ① 立入禁止エリア明示、分離
- ② 有害作業での保護具の着用

《改善・点検を要する事項》

- ① 足場上の残材片付け
- ② 作業床の防護
- ③ 差し筋の防護

■講評では、全体的には整理整頓は良好ですが、足場上の残材片付け、日々の変化に対応し、開口部養生・明示等の工夫をお願いします。

■田畑所長からは、「外構工事も始まり、場内も狭くなっていきます。また、内部も細部作業が多いため高所作業では、工夫を凝らして事故防止に努めます。」とのコメントでした。



【久御山町全世代・全員活躍まちづくりセンター建築工事】

重点実施例

『桂川嵐山地区下流河道整備他工事』

土木部 工務G 主任補 橋爪 直人

本工事は桂川の氾濫を予防し、渡月橋周辺の安定と美観を維持する工事でした。主な工種は河川土工_掘削工 5300m³、護床工_かご工 1739m² でした。

観光客が多いため、環境への配慮と交通事故の防止が課題でした。また、河川内作業での接触事故対策も重要でした。

中之島公園の一部を使う必要があるため、景観を害さずに安全を確保できる仮設計画を検討しました。施工ヤードをデザインバリケード、木製フェンス、花壇で囲い、四か国語の立入禁止幕を設置しました。(写真1)

河川土工について、幅員の狭い区間は4t ダンプで運搬し、仮置場で10t ダンプに積み替えることにより、交通への影響を抑えました。

護床工においては、手作作業員にライフジャケットを着用させることでオペレーターからの視認性を高め、接触事故と水難事故を防止しました。(写真2)

仮締切に使う大型土のうはストックヤードから搬入する設計でしたが、劣化した帯が切れる恐れがあったため、現地製作する計画としました。

これらの環境、交通、接触事故対策を重点的にを行い、無事に竣工することができました。ご安全に！



【写真1】



【写真2】

現場 ニュース

『令和7年度京都地区保全工事（その1）』

土木部 高速維持G 所長 関 雅史

本工事は年度を通しメンテナンス関西京都事業所の京都管内の高速道路での排水溝の清掃作業、路肩・のり面の植栽作業、本線・路下での交通事故を含む維持補修作業を主に行っております。

年間を通し大規模な工事としまして5月に春の京奈道路夜間通行止め、9月の名神集中工事（今年は万博の関係で11月に実施）10月の京奈・新名神夜間通行止め、11月には京滋BP夜間通行止め工事があります。いずれも夜間に高速道路を閉鎖しての、多種多様な工事になるので行き届いた安全管理が難しい状況ではありますが、職員の応援もあり無事故で終わることができました。

11月25日から3月31日までは雪氷対策期間になり、散布体制では大型湿塩車6台・標識車3台・助手6名・基地作業員1名・基地連絡員1名の計17名で凍結防止剤15t、塩水9m³を京都南基地を拠点に名神高槻JCT～京都東IC間を手分けして散布を行っています。除雪体制になると大型湿塩車3台・助手3名・基地作業員1名が追加になり、強化体制では人力除雪班も追加になる事があります。

期間中は日常作業もあり、工程管理と人員の確保が課題となり、何よりも高速道路を利用されているお客様の安全確保は最重要ではありますが、保安全管理に従事する人の安全確保も常に考えていきたいと思っております。
ご安全に！



【京奈道路夜間通行止め（植栽）】



【雪氷対策（凍結防止剤散布）】

安 衛 コ ラ ム

『入社してから今までを振り返って』

建築部 工事係員 戸田 菜月

お疲れ様です。昨年4月に入社しました建築部の戸田です。4月末から5月末までの1ヶ月間は「(仮称)ドミー山科東野新築工事」の現場で研修を受け、6月から「久御山町全世代・全員活躍まちづくりセンター建築工事」の現場に配属され勤務しております。

入社してから今までを振り返ってみるとあっという間の1年だったなと感じます。毎日が経験したことのないことの連続で目の前の業務をこなすことで精いっぱい、毎日時間が過ぎるのがすごく早く感じ、気づけば1年がたっていました。

もうすぐ先輩が入社してくることに不安な気持ちもありますが、これまで学んだことを生かしながら少しでも頼ってもらえる存在になれるよう頑張ろうと思います。

まだまだ分からないことだらけで、毎日先輩方や職人さんに質問してばかりですが、多くのことを吸収して、一人前になれるようにがんばっていききたいと思います。
ご安全に！

重 点 施 策

3月安全重点施策

『建設業年度末労働災害防止強調月間』

3月は、工事が完成時期を迎え繁忙度が増すとともに、各種作業が輻輳することから、焦りや不注意による不

安全行動を起因とした労働災害が多発しやすい時期です。

このため、建設現場における労働災害防止を目的として、3月を「建設業年度末労働災害防止強調月間」と定め、下記14項目の実施事項に基づき、積極的な安全衛生活動の推進を展開します。

1. 経営トップ等による年度末現場点検の実施
2. 墜落・転落災害の防止
3. 建設機械・クレーン等災害の防止
4. 崩壊・倒壊災害の防止
5. 飛来・落下等による公衆災害の防止
6. 交通労働災害の防止
7. 火災・爆発等災害の防止
8. 転倒災害の防止
9. 不安全行動による災害の防止
10. 安全衛生教育の実施
11. 職業性疾病の防止
12. 化学物質に関するリスクアセスメントの実施
13. 現場におけるメンタルヘルス対策の推進
14. 健康障害防止対策の充実

年度末に向けて特に多く見られる不安全行動による労働災害は、本来求められる状態からの乖離によって発生しています。安全指導・教育において指示した内容が、現場に十分伝わり、実践されていなければ意味がありません。

日常の作業過程の中で、指示した内容を確実に実践させるとともに、不安全行動が見受けられた場合は速やかに是正し、定められた安全行動を確実に身に付けさせることが重要です。ご安全に！

建築部建築G

◆事務局からのお知らせ◆



- 建設業年度末労働災害防止強調月間
期 間：3月1日～3月31日



- 春の火災予防運動

期 間：3月1日～3月7日

スローガン：『急ぐ日も 足止め 火を止め 準備よし』



- 安全衛生協会・委員会合同パトロールの予定

日 時：令和8年3月12日(木) 13:00～15:30

場 所：新名神城陽第一高架橋（下部工）拡幅工事

協力会：(株)山栄工務店・ナガタ工業(株)

- 工事完成 ご苦労様でした。



【由良川志高地区河道掘削工事】